

お客様各位

2025年1月29日
北興化学工業株式会社

変更登録のお知らせ

平素より弊社製品をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、2025年1月29日付で下記農薬の適用が変更登録されましたので、お知らせ致します。

農薬名

第24631号 アベンジャーフロアブル
(登録会社 三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社)

変更の内容

- ・作物名「ダリア」を追加する。
- ・作物名「ラナンキュラス」を追加する。
- ・作物名「なす」に使用方法「常温煙霧」を追加する。
- ・作物名「みょうが（花穂）」に使用方法「常温煙霧、但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により煙霧が直接花穂に飛散しない状態で使用する。」を追加する。
- ・作物名「みょうが（茎葉）」に使用方法「常温煙霧」を追加する。

【変更後の適用内容】（追加・変更された作物のみを抜粋）

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フロメトキンを含む農薬の総使用回数
ダリア	—	アザミウマ類	1000倍	100～300 ^{リットル} /10a	発生初期	2回以内	散布	2回以内
ラナンキュラス								
なす	—	タバココナジラミ類 (シルバーリーフコナジラミを含む)	—	100～300 ^{リットル} /10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
		アザミウマ類	1000～2000倍	10 ^{リットル} /10a				

(次のページに続く)

(前のページから続く)

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フロメトキンを含む農薬の総使用回数
みょうが (花穂)	—	アザミウマ類	1000 倍	100～ 300 $\frac{\text{リットル}}{10a}$	収穫 前日 まで	3 回 以内	散布、但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により散布液が直接花穂に飛散しない状態で使用する。	3 回 以内
	温室、 ガラス室、 ビニール ハウス等の 密閉できる 場所		33 倍	10 $\frac{\text{リットル}}{10a}$			常温煙霧、但し花穂の発生期にはマルチフィルム被覆により煙霧が直接花穂に飛散しない状態で使用する。	
みょうが (茎葉)	—		1000 倍	100～ 300 $\frac{\text{リットル}}{10a}$	みょうが (花穂) の 収穫前日 まで 但し、花穂を 収穫しない 場合に あつては 開花期 終了まで		散布	
	温室、 ガラス室、 ビニール ハウス等の 密閉できる 場所		33 倍	10 $\frac{\text{リットル}}{10a}$			常温煙霧	

【効果・薬害の注意】(追加・変更された注意事項のみ抜粋)

・ハウスなどの常温煙霧用として使用する場合は下記の注意を守ること。

- 1) 専用の常温煙霧機により所定の方法で煙霧すること。特に常温煙霧装置の選定及び使用に当たっては、病虫害防除所等関係機関の指導を受けること。
- 2) 煙霧が直接収穫物に当たると汚れが生じるおそれがあるので、施設上部に噴頭部を設置するなど、煙霧が収穫物に直接当たらないようにすること。
- 3) 作業はできるだけ夕刻に行い、作業終了後6時間以上密閉すること。できれば翌朝までとすること。

【安全使用上の注意事項】(追加・変更された注意事項のみ抜粋)

(1) 人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

ア 農薬使用者に係る注意事項

- ① 医薬用外劇物。取扱いには十分注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- ② 使用の際は防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- ③ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- ④ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ⑤ 施設内で使用する場合、窓等を開放し十分に換気してから施設内に立ち入ること。
- ⑥ 常温煙霧中はハウス内へ入らないこと。また、常温煙霧終了後はハウスを開放し、十分換気した後に入室すること。
- ⑦ 鍵のかかる場所に保管すること。

変更登録後の製品情報の詳細はこちら [\(農薬製品・安全データシート \(SDS\) 一覧\)](#) からご参照ください。

以上